

第1号様式（第3関係）

第1回豊山町男女共同参画社会づくりプラン策定委員会 議事録

1 開催日時

令和3年10月28日（木）

午前10時から午前11時30分まで

2 開催場所

豊山町役場 4階 研修室3

3 出席者

委員：鈴木恵利子（公募）

竹内智恵子（公募）

秋田 千晴（公募）

羽後 静子（中部大学 国際関係学部 国際学科 教授）

四浦かおり（豊山町 生活福祉部 福祉課 福祉係 係長）

牧野 礼男（豊山町 生活福祉部 福祉課 子育て支援係 係長）

木村 光希（豊山町 教育委員会事務局 生涯学習課 生涯学習係 主事）

事務局：鈴木 邦尚（町長）

小川 徹也（総務部長）

加藤 義紀（企画財政課長）

荒尾 竜也（企画財政課 企画・情報係 主査）

早稲田陽子（企画財政課 企画・情報係 主事）

4 欠席者

委員：中村百合子（とよやま女性の会 会長）

苅谷 由佳（公募）

森山三千江（愛知学泉大学 家政学部 ライフスタイル学科 教授）

5 議題

(1) 委員長の選出について

(2) 第2次とよやまレインボープランについて

(3) 第3次とよやまレインボープランについて

(4) 今後のスケジュールについて

6 会議資料

(1) 【資料1】 第2次とよやまレインボープランの現状と課題

(2) 【資料2】 第3次とよやまレインボープラン 目次 (案)

(3) 【資料3】 第3次とよやまレインボープラン 第1章 (案)

(4) 【資料4】 第3次とよやまレインボープランの体系・骨子の検討

付録

(1) 豊山町男女共同参画社会づくりプラン策定委員会設置要綱

(2) 第2次とよやまレインボープラン 事業評価シート

(3) 豊山町男女共同参画に関するアンケート 調査結果報告書

7 議事内容

企画財政課長	<p>ただいまから、第1回豊山町男女共同参画社会づくりプラン策定委員会を始めさせていただきます。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます、企画財政課長の加藤と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず初めに、委員の皆様へ委嘱状の伝達を行います。</p> <p>委嘱状につきましては、皆様の自席に置かせていただいておりますので、ご確認くださいませよう、お願い申し上げます。</p>
企画財政課長	<p>このたび、新たに委嘱させていただきましたので、私の方から各委員のご紹介をさせていただきます。</p> <p>とよやま女性の会会長 中村百合子様 (以下、順に紹介) 以上10名でございます。</p> <p>皆様方には、これからの豊山町男女共同参画社会づくりプランのご審議について、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、町長からご挨拶申し上げます。</p>
町長	<p>本日はお忙しい中、当会議にご出席いただき、また委員のご就任について快く快諾いただき御礼申し上げます。男女共同参画社会づくりプラン策定についてこれからご審議いただきますが、国連が1975年に国際婦人年を宣言して、国際婦人、男女平等という言葉が、婦人から女性、現在の男女共同に変わってきました。名前を変えて色々取り組んできましたが、どれだけ世の中が変わったのか疑問に思っています。言葉を変</p>

	<p>えると新しいという錯覚に陥らせるというのが役所のよくやる手法です。実態として女性社会進出がどう変わったのか。平成になって経済成長がストップして女性はやむなく社会に進出したということで、主体的に社会に進出したというわけではありません。そういったことからごまかされた形でこの間色々なことがなされてきたのではないかと、そういう疑念があります。しかし今日の新聞に選挙や夫婦別姓の問題、LGBTの話もあり、人間の社会に対するあり方をどう捉えていくのか、大きな転換期を迎えているというのが事実だと思っています。この2年間コロナで苦労しましたが、逆に大きく社会システムを変えるチャンスではないかと思っています。ここで大胆に舵を切らないとまた同じようなことが延々と続いて男女平等社会の実現がうまくいかなくなります。絶好のチャンスと思って豊山町の男女平等参画社会のあり方について忌憚のないご意見をいただき実りのある計画づくりをしていただきたいと思います。</p>
企画財政課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、町長は他の公務がございますので、ここで退席とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>ここで、事務局を紹介させていただきます。</p>
事務局	順に紹介
企画財政課長	<p>それでは、議題に入る前に、本日配付しています書類のご確認をお願いいたします。</p> <p>先ず『委員名簿』でございます。</p> <p>次に、資料としまして</p> <p>資料1 『第2次とよやまレインボープランの現状と課題』</p> <p>資料2 『第3次とよやまレインボープラン 目次 (案)』</p> <p>資料3 『第3次とよやまレインボープラン 第1章 (案)』</p> <p>資料4 『第3次とよやまレインボープランの体系・骨子の検討』</p> <p>でございます。</p> <p>次に、付録としまして</p> <p>付録1 『豊山町男女共同参画社会づくりプラン策定委員会設置要綱』</p> <p>付録2 『第2次とよやまレインボープラン 事業評価シート』</p> <p>付録3 『豊山町男女共同参画に関するアンケート 調査結果報告書』</p> <p>でございます。</p>

	<p>落丁や乱丁がございましたらお申し付けください。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>なお、本日の審議会の会議録につきましては、発言者の氏名を除いて公開とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に入りたいと思います。最初に、議題1の『委員長の選出について』です。委員長は、豊山町男女共同参画社会づくりプラン策定委員会設置要綱第5条第2項により、「委員の互選により定める」こととなっております。どのように取り計らいをさせていただきますでしょうか。</p>
A委員	事務局一任で良いと思います。
企画財政課長	それでは、推薦によりまして委員長の互選をお願いしたいと思いますが、どなたかご意見や推薦はございませんでしょうか。
A委員	大学教授を務められており、幅広い見識をお持ちの、B委員にお願いしては、いかがでしょう。
企画財政課長	ただいまA委員からB委員に委員長をというご推薦がございましたが、B委員に委員長をお願いするということではよろしいでしょうか。
委員	(異議なしの声)
企画財政課長	<p>ありがとうございます。ただいま「異議なし」との発言もありましたので、B委員に、委員長をお願いいたします。恐れ入りますが、委員長席にお移りいただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、委員長からご挨拶をいただきます。</p>
B委員長	<p>ただいまご推挙をいただき委員長を仰せつかりましたBです。</p> <p>コロナ後の社会が率先して男女共同参画を実現できる町になるために、この会議の内容が充実したものになるよう忌憚のない意見を交換し、かつ委員会の公正かつ円滑な議事について進めたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。</p>
企画財政課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これからの議事の進行につきましては、B委員長に取り回しをお願いいたします。</p>
B委員長	<p>議事の進行につきましては、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題2の『第2次とよやまレインボープランについて』、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料に基づき説明)

B委員長	町の現状をこのプランを見ていかがでしょうか。
A委員	2年生の娘が幼児から女の子になってきています。学校では2年生というのもあり性別の違い、性的なことをまだ学んでないが情報はすごく溢れています。誤っているものもあればあっているものもあります。図書室で5、6年生向けの恋とは何か、自分を守るためには何か、そういうものを借りてきて質問されても私も困ります。昔と比べて性教育が必要になってくる年齢が下がっていると感じています。豊山町の教育現場が今の子ども達に合わせて学校で教えているのかと感じています。
B委員長	性教育については小学校の低学年だとまだ難しく学校まかせになります。何かご意見はありますか。
C委員	学校現場で話が出てきているか分かりませんが、基本的には学校現場にお任せしています。
B委員長	2年生というのはまだ小さいですが、今は情報がすごく溢れていると思います。
A委員	危機感を覚えます。ある日、男の子が来て毎日お菓子とかをくれ、告白されるが、何のことか分からないがお願いされたからいいよと言ったと娘から聞きました。知識も何もないままそういう形だけが下の子ども達にまでいってしまっているのが怖いと思います。現代に合わせた性教育というのをちゃんとしてもらいたいと思います。体が成熟するのも早くなっているので、それに合わせた教育を学校側にさせていただかないと私達も管理しきれぬかわかりません。友達同士で集まり遊ぶようになって、子どもが、親の目が届かない世界にどんどんいってしまっています。子どもには、早く教えてほしいという気持ちがあると思います。私が教えなければならないのか、どこまで言っているのかという感じがあります。
B委員長	微妙な問題ではありますが、引き続き議論と何か施策ができればと思います。
D委員	滋賀県で性の虐待の申し出があった案件があります。昨今の性の多様性の認識もあり、町の保育園では、保護者に対して、体操着について今後どのように扱っていけばいいかを含めた意向調査を行いました。書類に男女の記入欄があったが摘要欄へ見直していけたらと思います。
B委員長	豊山町の高齢者女性は元気に活躍していますか。
E委員	それは昔からのことで今始まったことではありません。子ども達はスマホを大人よりも上手に扱っているので情報が入ってきます。 興味を持ち出すとあれも見たいこれも見たいとなるのでどこかでスト

	<p>ップしないといけないと思います。発達段階も違います。イギリスの絵本に、水着のことが書かれていると聞いたことがあります。</p>
B委員長	<p>デリケートゾーンを含めてどういうところかというのが最近話題になりますね。</p>
E委員	<p>水着のところは大事なところだから守らないといけません。意味は分からないかもしれないが、小さい子にも言っている内容の絵本となっています。</p>
B委員長	<p>絵本を読んだことはないがそれは話題で知っています。</p>
E委員	<p>私も内容は分かりませんが、小さい子にも読める話のようです。</p>
B委員長	<p>貴重な話ですね。ところで、商工会の女性は元気で頑張っていますか。</p>
F委員	<p>女性が活躍しているが高齢化が進んでいます。</p>
B委員長	<p>女性活躍の先頭を切っていただきたいと思います。</p>
F委員	<p>会社でも女性の管理職は少ない状況です。</p>
B委員長	<p>これも第3次の中で議論を続けるべきですね。</p>
事務局	<p>先程のA委員の発言につきまして、事務局から補足説明をさせていただきます。</p> <p>付録2の第2次とよやまレインボープラン事業評価シートは、各担当課に照会をして、この10年間の取組実績をまとめたものです。</p> <p>4ページのNO.20の事業として、人権教育、男女共同参画教育、性教育の実施を記載しています。学校では、この10年間、人権週間での人権集会や発達段階に応じたキャリア教育を実施する中で、人権尊重の意識や男女共同参画の意識の醸成を行ってきました。生命の安全教育や思春期教育を行っており、性犯罪や暴力から身を守るための性教育を継続して実施していきます。A委員から図書館の話もありましたがSNSの普及、性犯罪に巻き込まれる年齢も低くなってきておりますので、今後、低年齢への教育も視野に入れるよう検討します。</p>
B委員長	<p>低年齢、小さな子どもにも分かるようにするということですね。</p>
事務局	<p>性教育の部分は次期の計画で策定する方向性ですが、SNSについては、低年齢化という意味では意識できていない部分もありますので、改めて次期の計画を策定したいと思います。</p>
B委員長	<p>心強い回答です。</p>
A委員	<p>学校で性教育というのは何年生である、というように学年で決まっているのか、母として思うところがある。</p>
事務局	<p>事務局も把握できていないので、その点も踏まえ整理したうえで次回</p>

	回答したいと思います。
B委員長	それでは、続いて議題3の『第3次とよやまレインボープランの骨子について』、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)
B委員長	<p>国の方針では第5分野の2段目の命を大切にする、性暴力の加害者にならない、被害者にならないという、第6分野の人権教育、人権の部分でしっかり取り上げることがここに書いてあります。</p> <p>第3次の男女共同参画も人権、8番、10番の暴力の問題として捉えます。低年齢の子にどうやって教育をするのか、男女双方の性教育の低年齢化をそこで書き込みたいと思います。高齢女性の問題は関心が高いが、女性のほうが元気です。高齢者は地域での活動ができているが、貧困の高齢女性が多いと思います。</p>
E委員	目的がないと大変です。若い人はエネルギーであるが、参ったということがあると気分的にマイナスになってしまいます。しかし、言いたいことが上手に絡んでくると変わってきて、お年寄りも出てきやすくなると思います。上手に付き合えるよう、接点を作ってあげることが大切だと思います。
B委員長	高齢女性と子育て世代をどのようにしてマッチングさせるかだと思います。孫世代の子ども達を見守り、アドバイスすることで高齢女性の脳は活性化していき刺激にもなり、ママ達も助かります。そのような仕組みを模索しているところで、とても大事だと思います。
E委員	年齢関係なく、人の関係はとても大事だと思います。住環境でも、新しい家が沢山できています。難しいのが、どのように接していくかだと思います。自治会に入らないという人もいます。そういう人は、マンションで管理費を出せば済むと思っています。お金だけでは、人間は生活できません。少しずつコミュニケーションがとれてくると、それが分かってくると思います。ドブ掃除は絶対嫌だという人や、あいさつもしない人もいます。何かのきっかけがあればできると思います。
B委員長	町内会の参加率が低いと思います。高齢女性がキーパーソンとなって子育て世代の方の手助けになっていきます。男性は高齢になると家にこもり出てこなくなってしまう人が多いので、孤独な老人を外に出していくことで重要なのが高齢女性の呼び掛けです。町も活性化し、子育て世代が「ここなら安心安全」と思えます。イベントが活性化して、賑わいを作っていくのにあたり、高齢女性は非常に大事です。

E委員	中には、この人を見たことがないという人もいます。でも見たことがあれば、「この人あそこにいたよ」とか、若い人が高齢者を見た時に、「どこかに迷わないか」と見守ってくれることもできます。逆に助けてもらわなければならない立場になるかもしれないので、コミュニケーションは大事だと思います。
B委員長	今後また、議論に入れていきたいと思います。子どもを見守るにあたり、商店街は重要な役割になっていると思います。商工会はどうですか。
F委員	豊山町の商店街は、地元の個人のお店が減っています。こども110番の店として協力していますが、店が少ないので見つけれないとの話があります。
A委員	通学路に個人店がないので、結局逃げ込める場所がないのが現状です。いつも家にいる年配の方もいますが、こども110番の場所はなかなか探しても分からない状況です。
E委員	パトロールとは別に「行ってらっしゃい、お帰りなさい」と、いつも声掛けがあると、子どももいつも話してくれる人だと分かって緩みます。若いお母さん達がそのような人達に挨拶などしてくれると、子ども達も何気ないやり取りを見ているので、関係性が分かってきます。「いつものおばちゃんだ」というように接することができてくると思います。それがコミュニケーションという言葉だと思います。
B委員長	今後の議論に盛り込まれていけばいいと思います。
C委員	女性活躍推進計画というのがあるが新たに策定するのでしょうか。
B委員長	資料4のⅡの6の女性活躍推進計画は新しいテーマですね。
事務局	国で女性活躍推進計画を策定しているので、そこに連携した部分ということで書いています。
B委員長	しっかり受け継いでいけるようお願いします。
C委員	国の方針で税制や社会保障制度などの整備は進めるとありますが、第3次では入れ込まない方針ですか。
事務局	国の方針第9分野に各種制度等の整備と記載はありますが、本町の現状、課題を踏まえ、今回は載せてはいません。
B委員長	税制の社会保障問題は予算など大事です。今日だけでは議論しきれないので、引き続き議論を続けるのかどうか。また貧困の問題、雇用の問題があります。今回力を入れている女性活躍推進計画の中で、職業能力の開発、働き方、女性の再就職、再雇用を支援する施策を考えてほしいと思います。コロナの後に、シングルマザーや高齢女性の労働問題とか

	大きな問題が出てきて新しい課題となります。
F委員	資料4の8の5番で性的指向・性自認等の多様性に対する理解促進と支援とあります。男女別に書かないというのが成人の場合にはありますが、学校だと男女別です。実際にそういった方達が小さい時に行きづらかったそうではありますが、学校教育ではどうなのでしょう。
D委員	いつ頃から自分の性別と認識の違和感があるかどうかは、人により違います。全国的には、保育所では違和感がなかったという子どもがいるということもあるので、そういう意味では、保育所に入る年齢から常に違和感を持つ人もいるのではないかと思います。
B委員長	今回アンケートを見てびっくりしたのが、最初の質問が男性・女性・答えたくないと細部まであったことです。1割2割の人が答えたくないとあるので、ここは重要で、しっかりやっていると思います。デリケートゾーンの問題と同じで、ジェンダーは何かということをおかしいと刷り込まれてしまうと思います。小学校1年生に入る時からそれをなしにするのか、そのプロセスをしっかり考えたほうがいいと思います。保育園の段階からしっかり教育をしないと、服の色の問題、性を大事にする問題、男女の問題もセットです。これは議論の中で取り組んでいきたいと思っています。
事務局	これは方向性もあり取り組んでいきたいと考えています。
B委員長	早いほうがいいと思います。
A委員	スカートを選ぶかズボンを選ぶかというのが自由にできるだけでも子ども達の気持ちは楽になります。
B委員長	トランスジェンダーの子がスカート履きたくないとかズボン履きたいなど制服の問題がよく議論されています。制服が3種類くらいあってその中から選ぶということをししないと、カミングアウトになって差別いじめにつながるということで、二重三重に慎重にしないといけないと思います。ここより小さい豊根村は先進的で、小学校で12色のポロシャツを選べるようにしています。先に行くような政策を考えていかないと行き詰るし、そういう取り組みができると全国モデルにもなります。 今日は貴重な意見をいただいたので、次回も議論ができればいいと思っています。
事務局	学校現場でどのような性教育を行っているかという話についてですが、中学3年生を対象に助産師が講師となって、思春期教育を行っています。中学校1・2年生については、宿泊を伴うスキー合宿やキャンプ

	などの行事で、養護教員が性教育を行っています。小学校については、5年生女子を対象に養護教員が性教育の授業を行っているので、先程の議論の意味では、我々が子どもの時に受けたのと変わらない教育体制で実施されている状況です。その辺りも振り返りながら素案をまとめていきたいと思います。
A委員	行事があるからという考え方では少し遅いと思います。
B委員長	5年生辺りから生理が始まるからという話もあります。
A委員	その前に心は発達していると思います。きちんとした知識を早く知ることが悪いことではありません。家庭内の男女の関係とか、地域の人との関わり方にも年齢に適した話をした方がいいのではないかと思います。
B委員長	中学1年生くらいになるとジェンダーの話も出てくる。LGBTの問題は出てきていないがどこかありますか。
事務局	LGBTの部分も心の教育ということで、LGBTを含めた分野で記述できたらいいと思っています。
B委員長	できれば中学校2年生くらいが丁度いいのではないのでしょうか。
A委員	1年生だと新しい生活の駆け出しなのでいいと思います。
事務局	先程保育園という話もあったと思います。
B委員長	年齢の段階別にどのようにするのかを他の自治体も調べていただくと、専門でNPOでやっているところもあるので、助産師だけでなく新しい時代に合った情報提供のやり方でできたらと思います。親も性教育ということに戸惑っているので、家でもフィードバックして話しやすいようにお母さんと一緒でもいいと思います。
A委員	間違った情報をスマートフォンなどで得る前に、正しい知識が早く入っていると見方も変わってくると思うので、早くそのような認識になってほしいと思います。今は絵本も充実し、ジェンダーレスの本も出ていて色々な服を着てもいいし、女性同士のカップルもあるという本もあります。図書館など目立つところに置いて触れる機会があるといいと思います。
事務局	検討します。
B委員長	今後も皆様から知恵を頂戴できればと思います。
企画財政課長	慎重なご審議と選考をいただき、ありがとうございました。